

令和6年12月新見市議会定例会
日程第4（市長の行政報告について）

市 長 行 政 報 告

前回市議会定例会以降の取組等について、ご報告いたします。

まず、「産業・経済」についてであります。

農業振興につきましては、9月10日に、国内最大の取扱規模であり、新見産ぶどうの約5割を出荷している東京都大田市場において、新見産ピオーネのトップセールスを行いました。市場関係者の皆様からは、新見産ピオーネに対する高い評価の声をいただきました。

今後も、ブランド力のさらなる向上に向けて、引き続き支援を行ってまいりたいと考えております。

次に、畜産振興につきましては、10月12日に真庭市において、第79回岡山県畜産共進会が開催され、本市から12頭が出品し、和牛改良の成果を競いました。

審査の結果、5つの出品区のうち本市出品牛が2つの区で優等首席となり、最優秀賞であるグランドチャンピオンも獲得するなど優秀な成績を収め、団体でも昨年に続き優勝に輝きました。

これは、飼料価格の高騰など畜産を取り巻く環境が厳しい中、日々、飼育農家の皆様や関係機関の皆様が協力し、和牛改良や育成技術を磨いてこられた努力の結果であり、本市の誇りである千屋牛を振興するうえで力強い後押しとなるニュースであると、非常にうれしく感じております。

畜産業の継続的発展を推進するため、引き続き、様々な支援を行ってまいりたいと考えております。

次に、家畜防疫対策につきましては、今季、北海道で初めて確認されて以降、各地で発生している高病原性鳥インフルエンザの防疫対策のため、11月6日に職員対象の家畜防疫対策研修会を実施いたしました。

また、11月11日から12日にかけて、市内の各養鶏場へ消石灰を配付し、注意を呼びかけ、防疫対策の強化に努めたところであります。

林業振興につきましては、第74回全国植樹祭アフターイベントが10月13日に、大佐山大日高原及び大佐支局周辺を会場に開催されました。

当日は、皇后陛下によりお手植えされた、「アテツマンサク」の定植セレモニーが

行われ、おおさ総合センター芝生広場に定植いたしました。

本市の花である「アテツマンサク」を、緑化意識を高めていくシンボルとして、大切に管理し、育ててまいりたいと考えております。

観光振興につきましては、まず、9月14日に新見市憩いとふれあいの公園を会場に、3回目となる「FAN2024」が開催されました。

当日は、千屋牛の試食会やマルシェ、チキチキジョニーによるお笑いライブや新見高等学校吹奏楽部などによるステージイベント、各種団体によるワークショップやフリーマーケット、夜には、たまがき星空ランタンなどが催されました。

このイベントが、情報誌への掲載のほか、ホームページやSNSを通じて、広く情報発信されたことにより、来場者数は、約1万2千人となり、本市のPRと交流人口の拡大につながったものと考えております。

次に、9月28日から11月24日までの期間、県北部12市町村を舞台として、「森の芸術祭 晴れの国・岡山」が開催されました。

なかでも、蜷川実花（にながわ みか）氏、アンリ・サラ氏のアート作品が展示された満奇洞と井倉洞会場では、その幻想的な空間を活かしたアート作品が人気を博し、特に、満奇洞会場には、国内外から37,590人、対前年比403%の方が来場され、全作品展示会場の中でも上位の来場者を記録するなど、本市が持つ魅力が大いに評価されたものと考えております。

芸術祭で得た評価や盛り上がりを一過性のものとすることなく、広大な石灰土壌を背景とした鍾乳洞やA級グルメなど、引き続き、本市が誇る地域資源を活かしながら、ターゲットとする関西エリアからの観光客とともに、来年度開催される大阪・関西万博など、今後、増加が見込まれるインバウンドの誘客を促進し、観光消費並びに交流人口の拡大につなげてまいりたいと考えております。

次に、「健康・福祉」についてであります。

子育て支援につきましては、国際貢献大学校メディカルクリニックにおける分娩が令和6年度末で終了することに伴い、安心して妊娠・出産ができるよう、妊婦を救急車で産科医療機関まで搬送する「にいまママ・サポート119事業」を10月1日から開始いたしました。

事前に妊婦情報を登録しておくことで、出産の兆候や、急な体調の変化による緊急搬送の必要がある場合に、救急車で速やかに、妊婦を医療機関に搬送するものであります。

事業開始後、43名が登録されており、妊婦の皆様の不安軽減につながっているものと考えております。

また、9月1日から「赤ちゃんの駅」事業を開始いたしました。

乳幼児を抱える保護者が、外出中に気軽に立ち寄り、授乳やおむつ交換ができる場所を「赤ちゃんの駅」として、市内１７の公共施設を登録し、目印となるステッカーを掲示しております。詳細な場所は市ホームページなどでお知らせしておりますので、お気軽にご利用いただきたいと考えております。

今後は、民間事業者にもご協力をいただき、民間施設登録の促進に努め、「こども・子育てにやさしいまちづくり」の実現に向け取り組んでまいります。

次に、「教育・文化・スポーツ」についてであります。

部活動の地域移行につきましては、１１月２５日に第１回の新見市部活動地域移行推進委員会を開催いたしました。文化・スポーツ関係団体の代表者及び学校関係者など、１０名が参加し、学校が進めることと地域が進めることの２つを柱として体制整備を行っていくことを確認いたしました。

今後は、２月に第２回の推進委員会を開催し、来年度以降の具体的な取り組みを進めていくこととしております。

次に、「都市基盤・交通」についてであります。

金谷地区において計画を進めております金谷土地区画整理事業につきましては、事業の根本となる事業計画案を作成し、１０月２３日から１１月５日までの２週間、縦覧を実施したところであります。

今回の縦覧結果を踏まえ、県などの関係機関との調整を進め、令和７年度早々には県知事の認可を受け、事業計画の決定・公告が行えるよう、引き続き取り組んでまいります。

予約型乗合タクシーにつきましては、１１月から哲多・井倉・法曾及び草間の一部地域で実証運行を開始いたしました。また、すでに運行している地域も含めＡＩデマンド配車システムを導入し、アプリなどからの予約が可能となりました。引き続き、運行事業者と連携しながら利便性の向上に努めてまいります。

行政サービスのデジタル化につきましては、マイナンバーカードを利用し証明書などを自動発行する行政キオスク端末を、市役所本庁舎１階ＡＴＭコーナー及び各支局図書施設に設置し、１１月１日から運用を開始しました。各支局の図書施設では、年末年始を除く、土日、祝日でも住民票の写しなどの証明書の取得や、コピー機能の利用が可能となっております。

次に、「環境」についてであります。

自然環境に関する取組につきましては、地球温暖化による異常気象や気候変動に伴う自然環境の変化に対応するため、９月１８日に岡山県環境保全事業団と豊かな自然環境保全に関する連携協定を締結いたしました。この協定を契機に、希少動植物の保

護や天然記念物の保全などに関する取組を、今まで以上に推進することで、本市の豊かな自然環境を後世まで残してまいりたいと考えております。

次に、「交流・コミュニティ」についてであります。

協働のまちづくりにつきましては、１０月１８日に、本市の政策的な方針などに対し調査審議していただく「新見市まちづくり審議会」の第９期となる委員を委嘱いたしました。

今後は、「第３次新見市総合計画後期行動計画」について、審議を重ねていただくこととしております。

関係人口の創出につきましては、１０月２６日に、ふるさと市民に一みーとツアーを開催いたしました。このツアーでは、日頃見ることができない石灰採掘鉱山の見学やそば打ち体験などを行い、参加者の皆様は、新見の魅力を再認識し、大変喜ばれておりました。

今後も熱量の高いファンの増加と新たな関係人口の創出を図ってまいります。

最後に、新見高等学校生徒代表の議会への陳情をきっかけに、議会の附帯決議で始まった、移動期日前投票所の設置につきましては、１０月２７日執行の岡山県知事選挙と衆議院議員総選挙において、県下で初めて実施し、１１月１７日執行の新見市長選挙においても実施いたしました。

新見高等学校、岡山県共生高等学校、岡山県健康の森学園、新見公立大学の４箇所を巡回したことで、若い世代の方々の想いを受け止めることができたものと考えております。

以上、市政運営の状況につきまして主なものをご報告いたしましたが、引き続き市政の推進にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。